

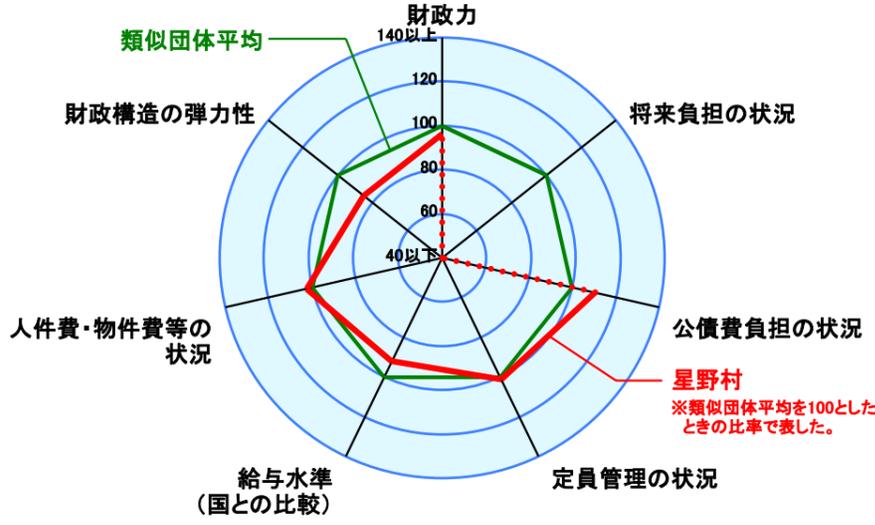
市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)



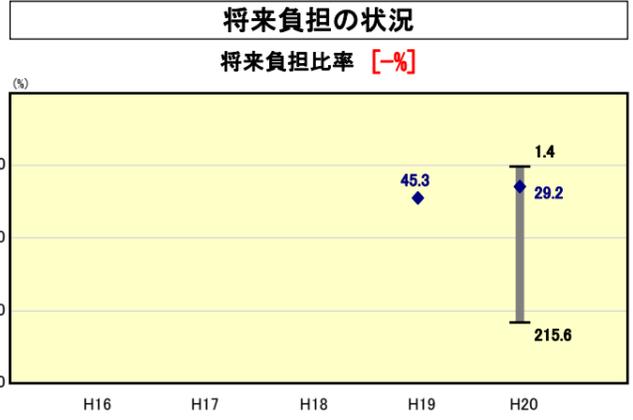
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 76/129
全国市町村平均 0.56
福岡県市町村平均 0.53

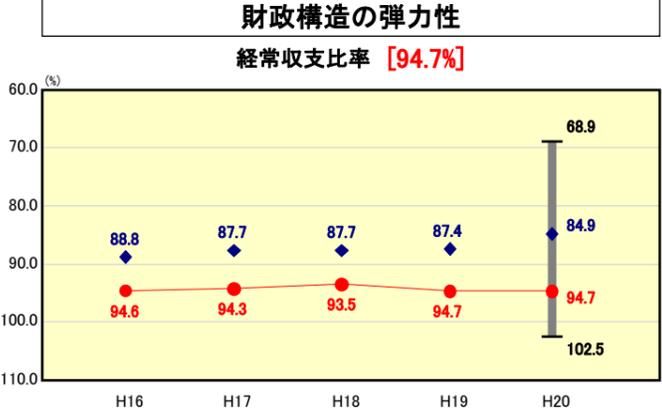
人口	3,335	人(H21.3.31現在)
面積	81.28	km ²
標準財政規模	1,787,332	千円
歳入総額	2,907,649	千円
歳出総額	2,618,987	千円
実質収支	155,585	千円



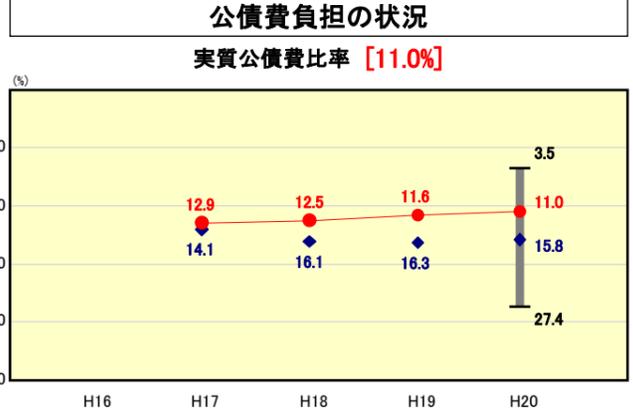
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



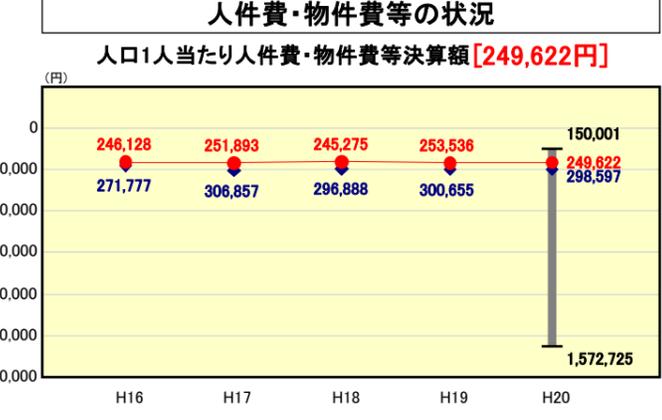
類似団体内順位 -/
全国市町村平均 100.9
福岡県市町村平均 137.5



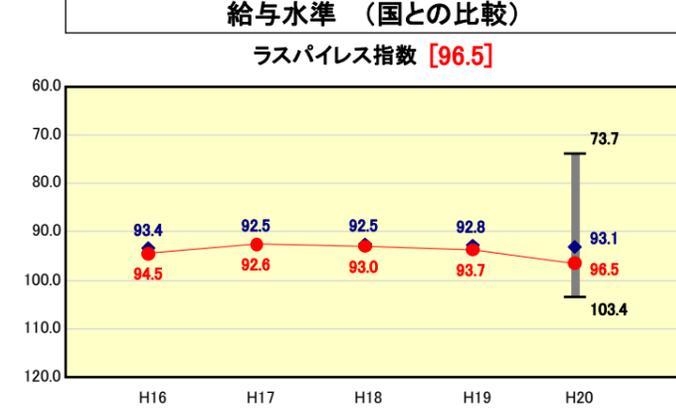
類似団体内順位 120/129
全国市町村平均 91.8
福岡県市町村平均 95.3



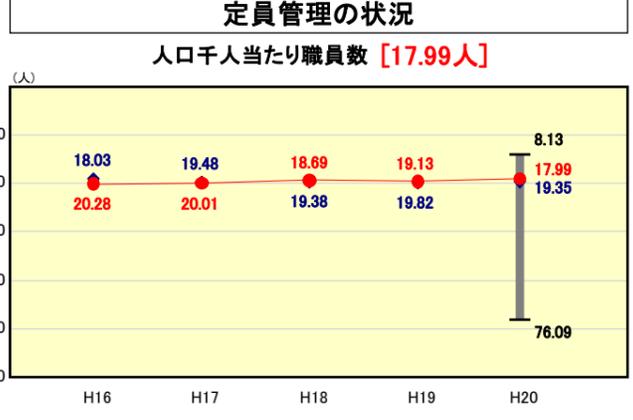
類似団体内順位 20/129
全国市町村平均 11.8
福岡県市町村平均 12.9



類似団体内順位 34/129
全国市町村平均 114,142
福岡県市町村平均 106,367



類似団体内順位 99/129
全国市平均 98.4
全国町村平均 94.6



類似団体内順位 49/129
全国市町村平均 7.46
福岡県市町村平均 6.22

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

(財政力指数)
人口の減少や、全国平均を上回る高齢化率(平成20年度末37.8%)に加え、主要産業である農林業の低迷等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。歳出の見直しを図りながら行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

(経常収支比率)
94.7%と類似団体平均を上回っているが、高齢化率が高く、扶助費の抑制が困難な状況にある。公債費については、平成15年度をピークに減少の傾向にあり、今後とも抑制に努める。また、定員管理の適正化による人件費の抑制、事務事業評価、補助金の見直し等により経常経費の削減に努める。

(実質公債費比率)
過去からの起債抑制策により類似団体平均を4.8ポイント下回っており、年々減少はしているが、今後とも新規発行の抑制に努めている。

(ラスパイレス指数)※記載位置を移動
類似団体平均を下回る96.5%となり、昨年に比べ3.4ポイント高くなっているため、今後はより一層の給与の適正化に努める。

(人口千人当たり職員数)
事務事業の整理合理化と併せて、第4次行政改革大綱及び実施計画に基づき、平成18年度定員75名から平成21年度までに10%削減する。

(人口1人当たり人件費・物件費等決算額)
類似団体と比較して、人件費・物件費等の適正度が低くなっている要因として、ゴミ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていることが挙げられる。一時事務組合の人件費・物件費等に充てる繰出金といった費用を合計した場合、人口一人あたりの金額は増加することになる。今後はこれらも含めた経費についても抑制していく必要がある。

(将来負担比率)
将来負担額を、充当可能財源額が上回っているため、将来負担比率はなしとなっている。

【※平成22年2月1日に八女市に編入合併】